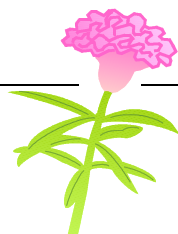


延小だより

No. 23

令和2年9月18日（金）発行 行橋市立延永小学校



ホームページへのQRコード

子どもも教師もともに学ぶ

去る10日〈木〉、2の1〈学級〉と3の3〈学級〉で、研究授業が行われました。

「研究授業」とは、授業をより良いものにするために、授業を公開し、その在り方を研究するために行うものです。

今回は、京築教育事務所や行橋市教育委員会等から、先生をお迎えして、算数の授業を行いました。先日は、先生が3の2と5の2で、先生が4の2で、いずれも算数の授業を行っています。どのクラスも、先生の問いかけや仲間との交流の中で、一生懸命に考えを巡らしながら、答えを探していました。

延永小は、「進んで考え、互いに学び合う子供を育てる算数科学習指導」をテーマとして、全職員で研究に取り組んでいます。これからも子供たちと一緒に、より充実した授業を目指していきたいと思ひます。



見える「思いやり」 見えない「思いやり」



～ 次の人への心くばり ～

延永小学校には、優しい思いやりをもった子がたくさんいます。困っている友だちや下級生に優しく手を貸してあげたり、温かい言葉かけをくれたり・・・学校が再開して、そんな場面をよく見聞きすることがあります。

でも、「思いやり」には、そういった行動や言葉として「見える」場合もありますが、人知れず、こっそり行う「見えない思いやり」もあります。

例えば、北校舎1階のトイレには、入口にスリッパが置いてありますが、いつもきれいにそろっています。これも次に使う誰かへの「思いやり」です。

教室や廊下に落ちていたゴミを拾ったり、みんなが使う本棚や物置き場を整理したり、みんなのために、誰かのために人知れずこっそり行う「見えない思いやり」は、生活の中の潤滑油（みんなが生活しやすくなるという例え）です。もし、教室で一人が一つゴミを拾えば、30人のクラスなら30個、延永小にいる全員が拾えば、500近いゴミが学校からなくなるということです。

そして、もし、そんな「見えない思いやり」に気付いたら、そっと「ありがとう！」と感謝の言葉を伝えましょう。

これからも「見える思いやり」・「見えない思いやり」の両方が、あふれる延永小学校であって欲しいと思ひます。



「先日の図書委員会でご紹介した状況を踏まえて」としよママさんから、先日すべての学年ごとに、おすめの本を紹介するポップカードのプレゼントをいただきました。どの学年も、ちよっと手にとつて、読んでみたくなるような楽しく可愛いカードです。



例年、朝の活動の時間に「絵本の読み聞かせ」をしていたいただいている「としよママ」さん。子供たちは、とても楽しみにしている時間ですが、今年にはコロナウイルス感染予防のため、残念ながらその活動はお預けとなっています。

図書委員会のポップカード

